MITSUBISHI
三菱ブルーレイディスクレコーダー

形名
DVR-BZ450
DVR-BZ350
DVR-BZ250
DVR-B5W

このガイドでは、ご購入後すぐにご使用いただく方のために、最低限の準備(接続と基本設定)について説明しています。
くわしい説明については、取扱説明書の「準備(接続)」「準備(基本設定)」をごらんください。

なお、本機を正しく安全にお使いいただくため、お使いになる前に必ず取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。

接続時に必要となる分波器(市販)には、ケーブル一体型のものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分配器や分波器を選べばよいかわからないときは、お買上げの販売店にご相談ください。

画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。

p. は取扱説明書の参照ページです。

電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

1. まずは、アンテナ線を接続しましょう p.12

地上デジタル放送の放送局によってUHFアンテナの向き(放送電波の中継基地)が異なる場合など、地上デジタル放送の全部または一部が受信できない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。または、「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(地デジコールセンター)」TEL 0570(07)0101 にご相談ください。

地上放送とBS・CS放送のアンテナ線が別々に部屋まで来ている場合

デジタル放送対応
BS・110度CSアンテナ

地上デジタル放送対応
UHFアンテナ

部屋の
アンテナ端子

デジタル放送対応
アンテナケーブル
(市販)

デジタル放送対応
アンテナケーブル
(市販)

本機

BS・110度CS
入力端子へ

地上デジタル
入力端子へ

BS・110度CS
出力端子へ

地上デジタル
出力端子へ

デジタル放送対応
アンテナケーブル
(市販)

アンテナケーブル
(付属)

テレビ

地上放送のアンテナ入力端子が1端子だけの場合

地上放送用のアンテナ入力端子へ

地上放送のアンテナ入力端子が2端子ある場合

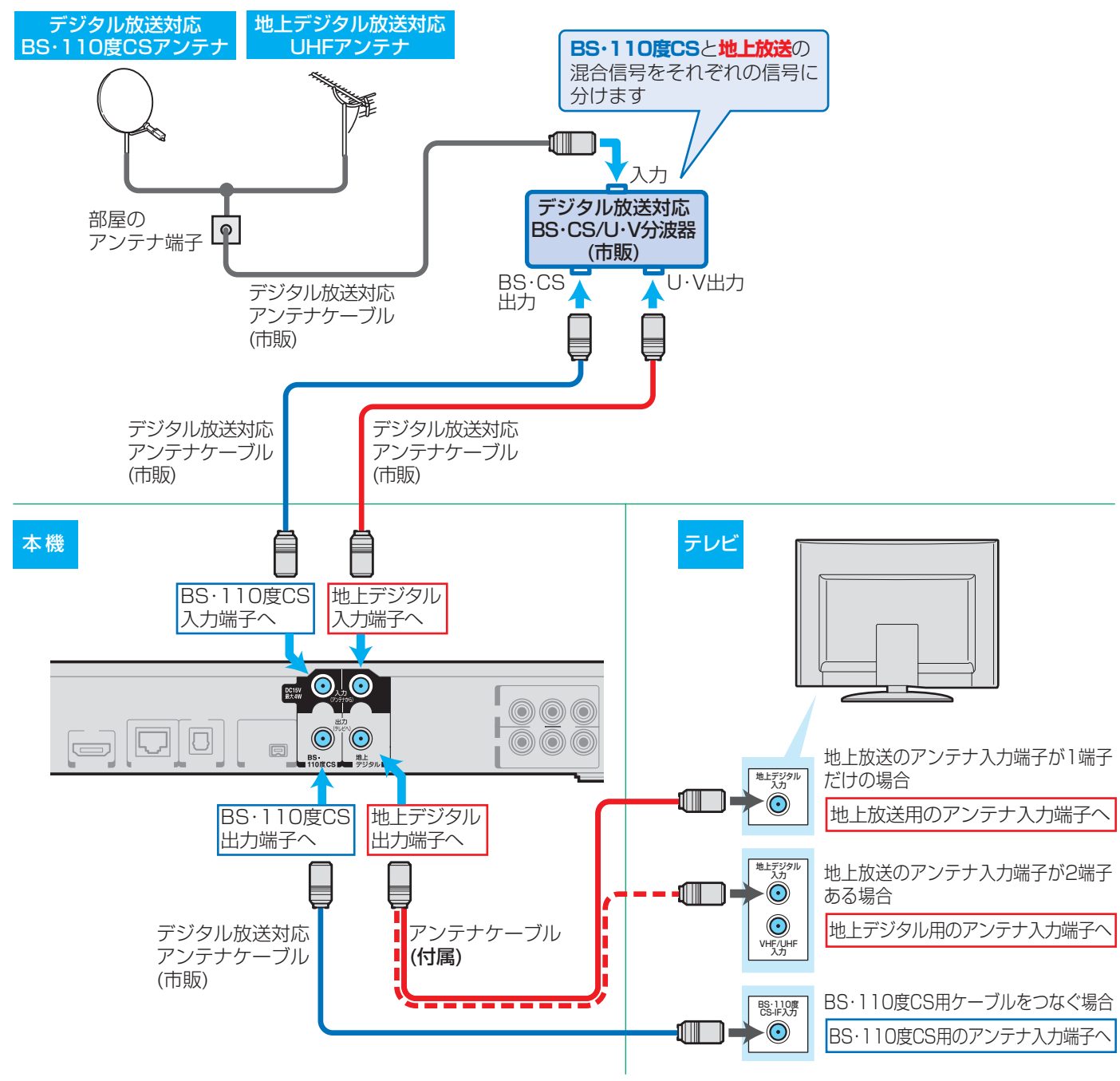
地上デジタル用のアンテナ入力端子へ

BS・110度CS用ケーブルをつなぐ場合

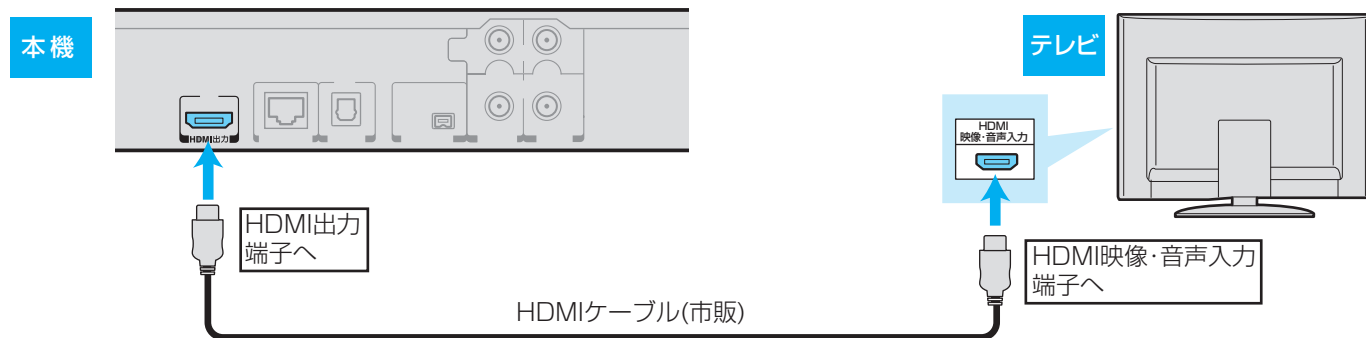
BS・110度CS用のアンテナ入力端子へ

1VMN32394

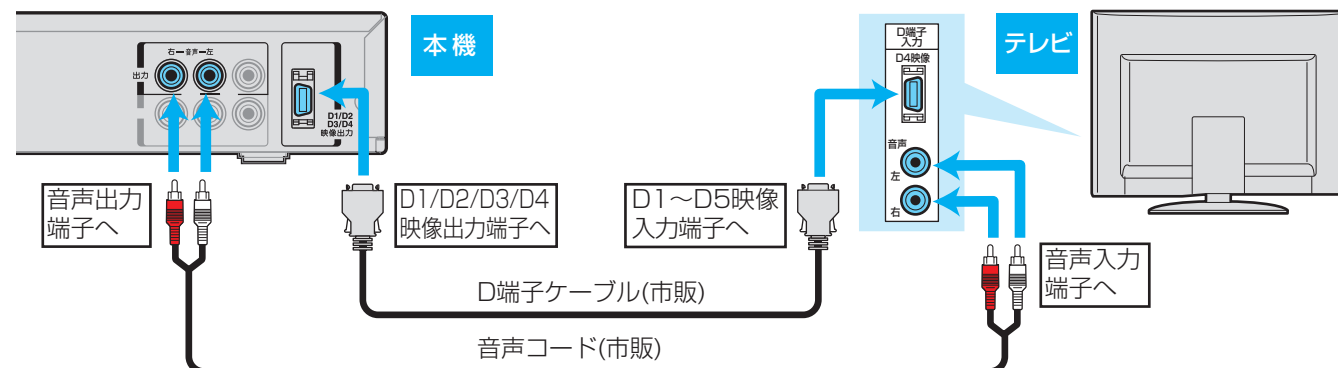
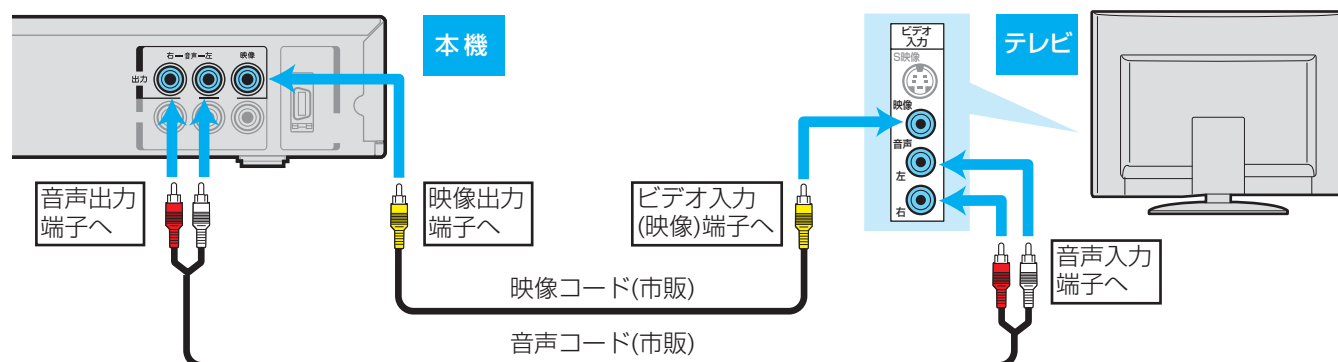
© EAA00_01_02JD/EAD00_01_02_03JD/
1VMN32394★★★★★

マンションなど、アンテナ線が1つになって部屋まで来ている場合

2. 次は、映像と音声のコードを接続しましょう p.14

本機には映像、音声のケーブル・コードは付属しておりません。
テレビの接続端子に合わせて、お買上げの販売店でご購入ください。

高画質で楽しみたい場合(HDMI端子で接続) おすすめ

高画質で楽しみたい場合(D映像端子で接続)

映像コード・音声コードで接続する場合

電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

ケーブルテレビ(CATV)で受信している場合は

ケーブルテレビ会社によって仕様や接続方法が異なりますので、くわしくはケーブルテレビ会社にご相談ください。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。 p.16

接続例

部屋のケーブルテレビのアンテナ端子

地上デジタル放送をパススルー方式で再送信していない場合のみ

ホームターミナル/セットトップボックス

ケーブル入力端子へ

デジタル放送対応アンテナケーブル(市販)

入力

デジタル放送対応U･V分配器(市販)

出力　出力

デジタル放送対応アンテナケーブル(市販)

音声出力端子へ　映像出力端子へ　音声出力端子へ　映像出力端子へ

音声コード(市販)★

映像コード(市販)★

音声コード(市販)

映像コード(市販)

デジタル放送対応アンテナケーブル (市販)

本機

テレビ

地上デジタル入力端子へ

音声入力端子へ

映像入力端子へ

音声入力端子へ

ビデオ入力(映像)端子へ

地上デジタル出力端子へ

デジタル放送対応アンテナケーブル(市販)

本機とテレビ間の次の接続は、本ガイドの1～3ページをごらんください。
- BS･CS用のケーブル
- 映像･音声用のケーブルやコード

地上デジタル放送用のアンテナ入力端子へ

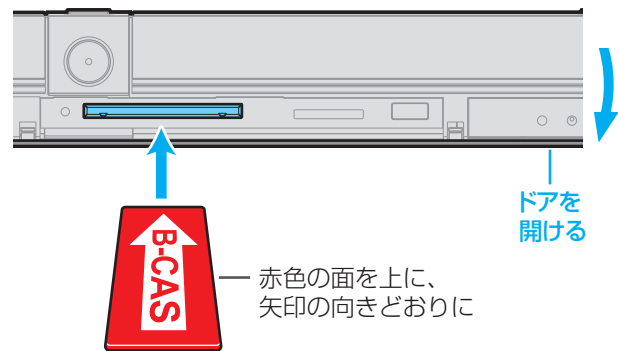
地上放送のアンテナ入力端子が1端子だけの場合

地上放送のアンテナ入力端子が2端子ある場合

i.LINK対応のセットトップボックスと本機を、★印の映像コード・音声コードの代わりにi.LINKケーブル(市販)で接続する場合に使用します。(くわしくは p.17)

◆印の接続は、ケーブルテレビで地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合にだけ接続してください。

うら面につづく

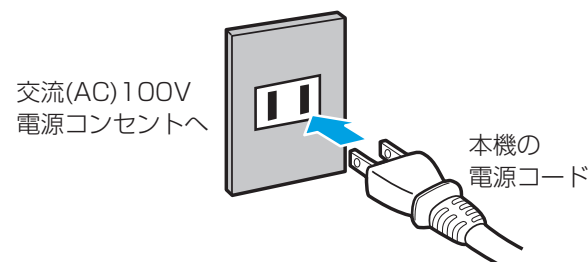
3. B-CAS(ビーキャス)カードを入れましょう p.15

B-CASカード(付属)
(台紙に貼り付けてあります)

本機でデジタル放送を見るためには、B-CASカード(付属)を本機に挿入する必要があります。

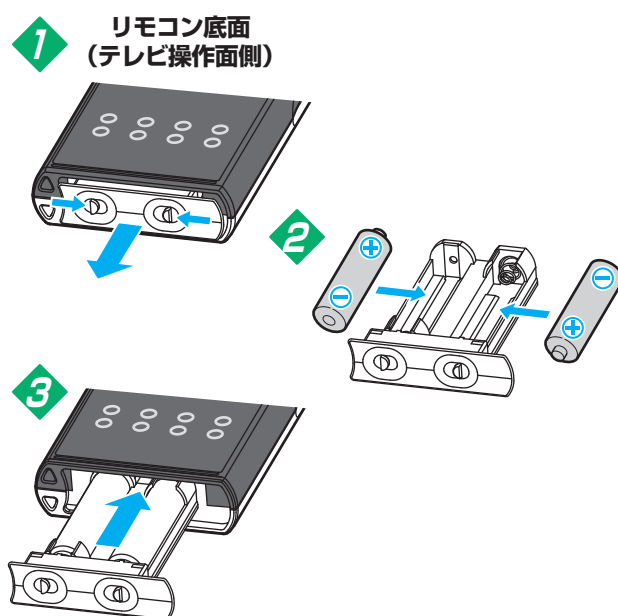
現在、デジタル放送をごらんにならない場合でも、紛失防止のために挿入しておくことをおすすめします。

B-CASカードは、赤い色の面を上にして、矢印の向きに挿入します。

B-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。

4. 電源コードをつなぎましょう p.21

電源プラグを交流(AC)100Vの電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になり、本体表示部に"**WAIT**"が表示されます。
"**WAIT**"の表示中は、本機の操作はできません。
表示が消えると、本機の操作ができるようになります。

システム設定中(本体表示部に"WAIT"を表示中)は、本機の操作はできませんので、設定が終わるまでしばらくお待ちください。

5. リモコンに乾電池を入れましょう p.23

1 テレビ操作面を上面にして、リモコン底面の電池ボックスを取りはずす

2 (−)側を先に入れたあと、(+)側を入れる
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。

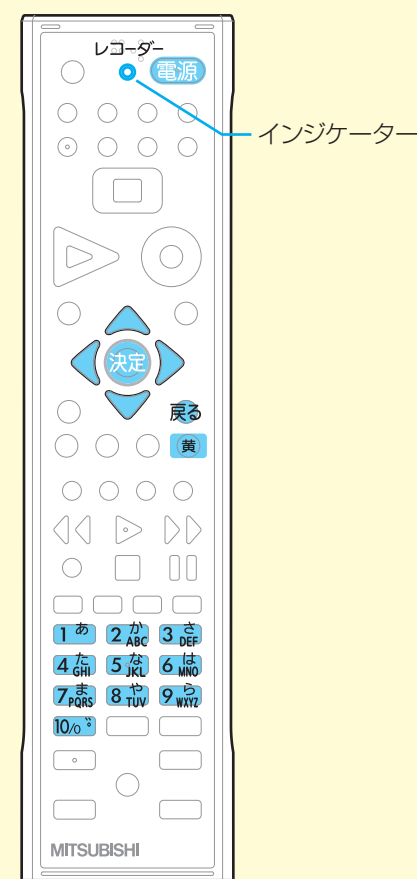
3 電池ボックスを取り付ける
- カチッと音がするまで、確実に押し込んでください。

**マンガン単4乾電池(R03)2本を入れてください。
(本機には乾電池が付属しています。)**

6. らくらく設定をしましょう p.24

- 必ず、放送のある時間帯に行ってください。

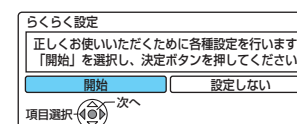
らくらく設定は、
(1) らくらく設定画面を表示させる
(2) 地域設定をする
(3) 地上デジタル放送のチャンネルを設定する
(4) BS·110度CSアンテナの設定をする
(5) 高速起動の設定をする
(6) REALINK(リアリンク)の設定をする
(7) らくらく設定を終了する
の順で設定していきます。

レコーダー操作面

**本機のリモコンには、レコーダー操作面とテレビ操作面の両面があります。
本機(レコーダー)の操作をするときは、レコーダー操作面を上にして操作してください。**
ボタンを押すと、インジケーターが点灯します。
インジケーターが点灯しない場合は、リモコンから信号が送信されていませんので、レコーダー操作面を上にして、もう一度操作してください。
リモコンからの信号を本体が受け取ると、本体から報知音が鳴ります。(鳴る設定にしているときのみ)

(1) らくらく設定画面を表示させる

1.1 テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1.2 本機の電源を入れる

- らくらく設定の開始画面が表示されます。

1.3 "開始"が選ばれているので、そのまま決定する

決定

1.4 確認画面の表示内容を確認し、準備が済んでいれば決定する

決定

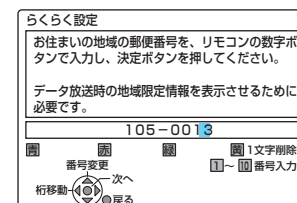
付属の「かんたん準備ガイド」で、必要な接続などをご確認ください。
準備がお済みでない場合は、一旦電源を切り、準備を終えた後、再度電源を入れてください。
以下の準備はお済みですか?
・アンテナ線の接続
・B-CASカードの挿入
よろしければ、決定ボタンを押してください。

(2) 地域設定をする

2.1 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定する

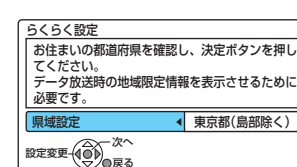
1 あ 〜 10/0 → 決定

らくらく設定
お住まいの地域の郵便番号を、リモコンの数字ボタンで入力し、決定ボタンを押してください。
データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
105−0013

入力を間違えたときは、黄 を押します。

2.2 お住まいの都道府県を確認し、決定する

決定

らくらく設定
お住まいの都道府県を確認し、決定ボタンを押してください。
データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
県域設定 東京都(島部除く)

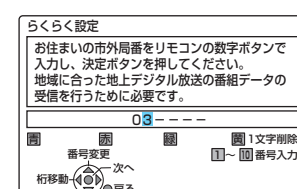
変更したいときは、[◀、▶]で都道府県を選んで決定します。
- 伊豆、小笠原諸島地域は、"東京都島部"を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、"鹿児島県島部"を選びます。

2.3 お住まいの地域の市外局番を入力し、決定する

1 あ 〜 10/0 → 決定

らくらく設定
お住まいの市外局番をリモコンの数字ボタンで入力し、決定ボタンを押してください。
地域に合った地上デジタル放送の番組データの受信を行うために必要です。
03−−−−

入力を間違えたときは、黄 を押します。

7ページにつづく

6ページからのつづき

(3) 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

3.1 "はい"が選ばれているので、そのまま決定する

地上デジタル放送のチャンネルを設定しない場合は
[◀、▶]で"いいえ"を選び、決定します。→手順 4.1 へ

- "いいえ"を選んで設定しなかった場合は、らくらく設定終了後、必ず時計を合わせてください。
  時計を合わせないと、録画予約ができません。

3.2 お住まいの地域を選び、決定する

3.3 "UHF"または"全帯域"を選び、決定する

UHF …… 通常はこちらを選んでください。

全帯域
ケーブルテレビ(CATV)をお使いの場合で、地上デジタル放送がパススルー方式で再送信されているとき。

- チャンネルスキャンが始まり、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。（設定が終わるまで、10分程度かかることがあります。）

3.4 "次へ"が選ばれているので、そのまま決定する

"UHF"を選んで設定すると、一覧の"CH"や"チャンネル名"が"−−−−"になって、設定ができないチャンネルがあるときは

1. 決定を押して、次の手順 4.1 の画面を表示する
2. 戻るを押して、手順 3.1 の画面に戻す
3. もう一度、手順 3.1 〜 3.4 を行う
   - このとき、手順 3.3 で"全帯域"を選んでください。

(4) BS・110度CSアンテナの設定をする

4.1 決定を押す

4.2 BS・110度CSアンテナの種類を選び、決定する

供給しない（本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しません）
- 他の機器(テレビなど)から電源を供給しているとき。
- マンションなどで共同受信しているとき。
- ケーブルテレビ(CATV)で受信しているとき。

供給する（本機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給します）
- 本機とBS・110度CSアンテナを直接つないだとき。

接続しない
- BS・110度CSアンテナを接続していないとき。→手順 5.1 へ

4.3 確認画面で正しく設定されたことを確認したあと、決定を押す

正しく設定されていないときは
[◀、▶]で"再設定"を選んで決定します。
手順 4.2 の画面に戻りますので、もう一度設定してください。
再設定をしても正しく設定できない場合は、"次へ"を選んで決定し、次の手順に進んでください。

(5) 高速起動の設定をする

5.1 高速起動するかどうかを選び、決定する

設定する ‥‥起動時間を高速化したいとき。
※ i.LINK(TS)入力から録画・録画予約するとき。
※ スカパー！HD対応チューナーから「スカパー！HD録画」するとき。
※：必ず"設定する"に設定してください。
設定しない ‥起動時間を高速化しないとき。

- 高速起動を"設定する"(高速起動「入」状態)にすると、起動時間が早くなりますが、内部の制御部が通電状態になるため、"設定しない"(高速起動「切」状態)のときと比較して待機時消費電力が増えます。

(6) REALINK(リアリンク)の設定をする

6.1 REALINK(リアリンク)機能を有効にするかどうかを選び、決定する

設定する ‥‥REALINK 機能を有効にする(使用する)とき。
設定しない ‥REALINK 機能を無効にする(使用しない)とき。

(7) らくらく設定を終了する

7.1 注意事項を確認し、決定を押す

7.2 決定を押して、終了する

- 追加のメッセージが表示されるときは、メッセージに従って必要な接続や設定を行ってください。

- チャンネル設定を変更したいときは、p.30 をごらんになり、必要に応じて変更してください。
- 時計は、地上デジタル放送のチャンネルの自動設定を行うと、自動的に設定されます。

これで準備は終わりです。
取扱説明書や「かんたん操作ガイド」をごらんになり、お楽しみください。

取扱説明書を読んでもどうしても使いかたがわからないときや、故障かな？と思ったときは

三菱電機お客さま相談センター フリーコール 0120-139-365（無料）
携帯電話・PHS・IP電話の場合 03-3414-9655（有料）
FAX 03-3413-4049（有料）

ご相談対応 平日 9：00〜19：00 土・日・祝・弊社休日 9：00〜17：00 左記以外の時間は受付のみ可能です

それでも、取扱いや据付・設置・接続・基本設定の方法がわからないときや、故障かどうか判断がつかないときは

出張サポート(有料)の受付を行っております。
くわしくは、p.192 をごらんください。